

市長と語ろう！笠間タウントーキング 第14回 議事録

開催日時 平成21年9月27日（日） 午前10時～11時30分

開催場所 市役所本所2階大会議室

参加者 市民 32人

《フリートーク（意見交換）》

1. 平成19年度の税源移譲に対する市の説明について
2. 国民健康保険について一般会計から繰り入れて個人負担を少なくしてほしい
3. 議員報酬の改定について
4. 下水道の分担金について
5. 市道にはみ出した草刈を所有者がやるように指導してほしい
6. 市立病院のトイレの改修について
7. 防災無線について
8. 回覧文書の文字を大きくしてほしい
9. 財政健全化法に基づく情報公開について
10. 来年度予算編成について
11. 敬老会について
12. 公共施設のトイレの洋式化について
13. 民話を掘り起こしてほしい
14. 防災無線について
15. 道路工事について
16. 友部二中のフェンスを高くしてほしい
17. 火災のとき防災無線で放送してほしい
18. 涸沼の環境について
19. 敬老会について
20. 人事異動について
21. 環境問題について大学と連携して考えてほしい
22. グラウンド整備用のトンボを補充してほしい

《内容》

1. 平成19年度の税源移譲に対する市の説明について

【意見等】

平成19年に国の所得税から地方の住民税への税源移譲が実施されたが、納税通知書に同封されていたしおりの内容は、「税源移譲で、住民税は増えますが、その分所得税が減るので、納税額は変わりません」と書いてあるだけだった。この内容は、税源移譲のことだけを説明している限りでは、その通りだと思う。納税通知書を見て、その大增税に驚き、やりきれない気持ちになっているときこそ、市として増税となった内容を分かりやすいしおりにして、納税通知書に同封する責任があったと思うが、いかがか。

【回答】

税源移譲については、地方自治体が独自に使える財源がほしいということで、住民税を上げて、その代わり所得税を下げるという考え方で、税制改革の中で実施したわけです。制度を作るのは国ですが、実施をするのは市町村なので、市町村がもっと分かりやすい説明を果たせということだと思います。市としても足りない部分があれば、特に制度の見直し時には、しっかり説明していきたいと思います。

2. 国民健康保険について一般会計から繰り入れて個人負担を少なくしてほしい。

【意見等】

合併後、国民健康保険税や介護保険料が高くなっている。平成18年度決算報告では、国民健康保険で約2億8000万円、介護保険で3億5000万円近くの備蓄金があった。備蓄金を負担の軽減化に充当するよう要望する。また、市民税が増税された分、住民のニーズにあった事業・サービスができるようになるアピールしているのなら、負担増に苦しんでいる国民健康保険などへの一般会計からの繰り入れを行うなどして、市民の負担をできるだけ軽減してほしい。

【回答】

国民健康保険で一般会計から繰り入れて、住民負担を下げてほしいということですが、基本的には、国民健康保険財政は独立していますので、一般会計から繰り入れる考えはありません。一般会計からの繰り入れを始めると、悪循環になってしまいます。また、介護保険については、確かに留保金があります。あったからこそ、今回の介護保険料改定で上がらずに済んだということです。留保金を別な事業に使ってしまうということはありません。あくまでも、介護保険事業に使うということで、一定の留保金を持ちながら、住民の皆さんの介護保険料が上がらないようにうまく使っていきたいと思えます。

3. 議員報酬の改定について

【意見等】

議員報酬を改定した内容がなぜ、広報かさまにも議会だよりにも掲載されていなかったのか。また、議員報酬を大きく引き上げる必要性の根拠は何だったのか。市長としてどう考えているのか。

【回答】

市議会議員の報酬改定については、改定があったときには、議会だよりや市報で広報しています。市職員の給与と一緒にホームページには載せています。報酬額については、どれぐらいが適正であるかは決まった金額がなく、市町村によってもばらばらです。前回の改定のときには、それが適正だと判断しました。

4. 下水道の分担金について

【回答1】

事前に下水道の分担金についての質問が出ていますので回答します。下水道については、ある一定のサービスを維持するため受益者負担が必要です。生活排水と雨水をまとめて処理する方法と生活排水のみ処理する方法と2通りありまして、笠間市では経費の面で生活排水のみ処理する方法を選んでいるということです。土地の面積によって、結構、分担金がかかると思いますが、それは、下水道が通ることによって、土地の価値が上がり、生活利便性・環境の向上になりますので、分担金は分担金として納めていただきたいと思えます。

【意見等1】

そういうことを言っているわけではない。生活排水だけしか流さないのに、なぜ、土地の面積で負担額が多くなってしまうのか。納得いくような説明をしてほしい。

【回答2】

生活排水だけを流すということであれば、例えば、土地の面積ではなく、建物の面積だけにしてほしいということでしょうか。納得いくような説明と言われても、難しいですが、簡単に言えば、土地の価値が上がることが一つだと思います。建物の面積だけでやっていくと、負担も賄えない、応分の負担の中で土地にも分担金をもらうことになっていると思えます。

5 市道にはみ出した草刈を所有者がやるように指導してほしい

【回答】

事前に道路の草刈についての質問が出ていますので回答します。道路関係の草刈については、それぞれ国道、県道、市道で役割分担してやっていますが、追いつかないのが現状です。この草刈をどうしていくかということで、正直言って頭を痛めています。市道の隅々までやっていくことは正直できません。例えば、道路の建設費を毎年10%カットして、草刈の費用に充てるということになれば、可能かもしれませんが、その合意形成を取るのはちょっと難しいです。

【意見等】

市だって忙しくて、いちいち見ていられないと思うので、住民が気付いたら、区長に連絡して、区長が市に電話をして、市職員が現場を確認し、所有者に依頼するようになればよいと思う。

6. 市立病院のトイレの改修について

【意見等】

市立病院へあまり行ったことがなかったが、最近行った時の対応がすごくよかった。ただし、施設としては、古くて、特にトイレがひどい。できるだけ早くトイレを改修してほしい。

【回答】

地域活性化経済対策臨時交付金という資料の6ページに市立病院支援事業が記載されていると

思います。この補正予算は、6月に議会の承認を得たもので、新しいCTの機械の導入とか、玄関・待合室・トイレ・浴室などの改修をするためのものです。6月下旬に議会が終わって、まだ執行されていませんが、なるべく早く改修工事を実施したいと思います。市立病院は、イメージ的にも暗いので、玄関あたりの屋根が出ている部分はきれいに取り払って、明るいイメージにして、使いやすいものにしていきたいので、もう少し待っていただければと思います。

7. 防災無線について

【意見等】

年寄りや耳が悪いので、夕方の防災無線の放送が非常に聞き取りにくい。放送は、男性の低い声より女性の高い声でやってほしい。低音は高齢者の耳では聞き取りにくいということを認識してほしい。それから、児童の下校に合わせて流す放送の時間が冬季にずれているので合わせてほしい。

【回答】

防災無線については、できるだけ女性の高い声や通りのよい声でやっていきたいと思います。下校の時間も合わせているつもりですが、適時にやっていきたいと思います。

8. 回覧文書の文字を大きくしてほしい

【意見等】

回覧文書の文字が高齢者にとって小さすぎる。あれでは、読まない。何とかならないか。とにかく4人に1人が高齢者なので、在宅で生き生き暮らすための応援をお願いします。

【回答】

回覧文書については、今までの市政懇談会で同じような意見を何回もいただきました。まず、回覧で回す資料が多すぎるという意見とやはり文字が小さいという意見です。行政としては、いろいろな情報を伝えたいという気持ちを持っています。文字を大きくするとページ数が増えて厚くなってしまいます。それならば情報量を少し減らしたらどうか、1週間に1回ではなく、2週間に1回にしたらどうかなどの話がありますが、できるだけいろいろな情報を市民に伝えたいと思っているので、どうしても文字が小さくなったり、枚数が多くなってしまうことがあります。重要ところは大きくするなど、気をつけていきたいと思います。

9. 財政健全化法に基づく情報公開について

【意見等】

財政関連での情報公開だが、財政健全化法に基づき2008年から財政の健全化を判断する比率の公開が義務化されたと思う。昨年11月号の広報紙で公開されている。広報紙に折角出しているが、数字の比較だけでよく内容が分からない。例えば、標準財政規模などよく分からないので、どこかで算式を出していただいて、我々素人でもわかるようにしていただければありがたい。紙面の都合で算式が載せられないのであれば、分かりやすいかさまの予算の冊子の中で、用語の説明をするなど工夫してほしい。

【回答】

財政健全化判断比率とか、いろいろな財務指標がありますが、昨年度11月の市報に載ったものだと思います。平成20年度の決算も9月議会で承認を得ましたので、平成20年度決算に基づく、財政比率の指標については、まもなく公表する予定になっています。例えば、市報に載せるのにも、ページ数で限界があったり、「分かりやすいかさまの予算」にもひとつひとつ用語の細かい説明があればいいのですが、ページ数が足りなくなったりしますので、比較的制限の少ないホームページに細かい説明を載せるようにしています。ご理解をいただきたいと思います。

10. 来年度予算編成について

【意見等】

来年度の予算関連だが、例年だと8月ぐらいから始動していると思う。現在、政権交代の関係で動きがとれず苦勞しているのではないかと。待ちの姿勢なのか、それともある程度組んでしまうのか、状況を教えてほしい。

【回答】

来年度予算については、遅れるわけにはいかないもので、予算編成の方針を決めて、編成作業に入っていく予定です。ただ、国の財源や制度が変わる可能性がありますので、進めているものが途中でまるっきり方向変換することもあるかと思っています。それはそれで、その時点で対応していくのが行政の役割だと思います。

1 1. 敬老会について

【意見等】

私の地区では、二つの地区が合併し、集落センターで敬老会を開催した。友部地区では初めての試みだと思う。非常によかったことは、出席率が70%とよく、交流が図れたことだ。ちょっと考えてほしいこととして、「ドライブスルー」などのカタカナの文字は、行政として使わないでほしいという話が出た。

また、高齢や寝たきりで出席できない方は、記念品だけで終わりだというのはあまりにもかわいそうだという意見が多かった。機会があれば、区長会なり高齢者クラブの総会なり、いろいろ意見をいただければ来年の敬老会にプラスになると思う。

【回答】

友部地区については、去年まで小学校毎にやっていたのですが、全部ではありませんが、今年から各地区での敬老会を実施するようになりました。初年度ということで、主催された方もご苦労されたと思いますし、改善する点は多分あるかと思います。来年に向けて主催したボランティアとか区長さんとか関係者から意見を聞いて、よりよい敬老会にしていきたいと思います。ドライブスルーというのは、車で来て、例えば、記念品をもらって帰ってしまうということですね。それを行政が使ったということですか。適当な言葉ではないと思いますので改善します。

1 2. 公共施設のトイレの洋式化について

【意見等】

自分自身が高齢になり、膝を痛め股関節が悪く、和式のトイレが使えない。そのような中で、市内の公共施設に洋式トイレが非常に少ない。なんとかならないのか。

【回答】

公共施設のトイレの洋式化についてですが、確かにそういう意見が多数ありまして、市では、例えば、女性用トイレが2つある場合は、どちらか一つを洋式にするという考え方で進めています。ただ、一つしかないところは、和式の方を望む人もいますので、現状のままということです。

1 3. 民話を掘り起こしてほしい

【意見等】

機会があったら、ぜひとも、友部地区の民話を掘り起こしてほしい。

【回答】

民話が埋もれてしまうのを、行政で対応するのは正直言って難しいところがあります。行政で音頭をとることは何とかできますが、できれば、友部地区の方たちで集めていただければと思います。そういう活動が育っていけばいいと思っています。合併して、現在新しい市史の編纂をやっています。そこでは、民俗の中に、昔話を含めて掲載していこうという方向性は持っています。必要なのは分かりますが、具体的にどういう組織を作って進めるのがよいのか難しい部分もありますので、少し検討させてください。

1 4. 防災無線について

【意見等 1】

防災無線について、次の文章に移るまでに、間が空いてしまって、文章としてつながらないような放送がされる時がある。あれは、読み方としておかしいと思う。ゆっくり読むのは大切なことだとは思いますが、修正してほしい。

【意見等 2】

放送した内容が理解されるのはとても難しい。もう一度、防災無線の建っている位置、集落との距離間隔を調べたら、この問題も少し改善すると思う。また、話す方の訓練も必要な気がする。大事な放送なのでよろしくお願いしたい。

【回答 1】

防災無線での話し方については、正直言って職員もプロではありません。しかし、明確に伝える

必要があるので対応していきたいと思います。

【意見等 3】

個別受信機なども考えてはどうか。

【回答 2】

市の中でも、岩間地区はほとんどが個別受信機で、防災無線の本数が非常に少なくなっています。また、笠間地区でも防災無線も多数建っていますが、一部山間部では個別受信機で対応しているところもあります。地域や地形によって対応させていただきたいと思います。

1 5. 道路工事について

【意見等】

道路工事の際、フェンスが二重になっているなど、そんなに丁寧にやらなくてもいいと思うところがある。金でも余っているのかなと不審に思うときがある。

【回答】

安全な道路を作るのが行政の役割なので、決して金が余っているわけではありません。余計なものを作らないで、必要最小限で安全なものを作るということで進めていきたいと思います。

1 6. 友部二中のフェンスを高くしてほしい

【意見等】

友部二中のグラウンドのフェンスが低く、テニスボールや野球のボールが道路に行ってしまうので、フェンスを高くしてほしい。

【回答】

友部二中のことについては、現状がよく分からないので、学校側によく聞いてみます。

1 7. 火災のとき防災無線で放送してほしい

【意見等 1】

友部地区では、火災が起きたときに防災無線で放送したことがない。他市では、火災が起きると「どこそこ地方で火事です」とか場所を放送するところがあるが、なぜできないのか。

【回答 1】

できないということではなくて、やっていないということです。ただ、火災について防災無線でどこまで放送するかは、ちょっと難しい問題だと思います。

【意見等 2】

地域で放送すればいいと思う。例えば、旭町地区にあった場合は、旭町地区で火災がありましたと放送してくれれば、車で通る人は注意すると思う。そういう方法もあると思う。

【回答 2】

以前は、確か岩間地区では、流して消防団を出動させるということがありました。今は、指令装置ができて、自動で火災現場の近くの消防団が出動するシステムになっています。住民の方に対する広報ですが、やはり個人情報などの部分があります。また、放送することによっていろいろな電話等があり、緊急の方がパンクしてしまうことがあります。通信担当は、2～3名でやっていますので、火災の出動に手がいっぱいになってしまう関係上、現在は流していません。

【質問等 3】

消防車がサイレンを鳴らしていくと、みんな「どこだ、どこだ」となるので、そうであれば、「どこそこ方面が火事です」という放送を消防署から流してもらえば無難だということです。この間、住吉地区で朝、火事があったときには、通勤の車で現場が混乱した。事前に分かっていたら、迂回していこうという考えもでてくる。全然なくては、現場にぶつかって、時間に遅れ、焦って交通事故を起こすような事態も起きると思うので、そういうことを含めて今後の検討課題として要望する。

【回答 3】

今後の検討課題とさせていただきます。

18. 涸沼の環境について

【意見等】

残念ながら涸沼の水質が悪い。全然改善されていない。下水道を整備しても効果が上がってきていない。この原因は、生活排水がまだ流れ込んでいるからだと思う。市内でも、合併浄化槽の保守管理が悪くて、臭い水が流れているところがある。100軒の内いくら99軒がよくても1軒で汚してしまうとBOD、CODをすぐ悪くしてしまう。

【回答】

涸沼の水質は、最悪のときよりはよくなったとは思いますが、環境改善には時間もかかりますし、下水道の整備と合せて接続率の向上に力を入れていきたいと思えます。しっかり接続してもらうことが、水質改善にもつながります。また、合併浄化槽の保守点検もやることにはなっていますが、費用負担が伴うのでやらない方もいるので、今後、意識啓発をしっかりとやっていきたいと思えます。

19. 敬老会について

【意見等】

20年前に区長をやっていた当時は、中央公民館で敬老会をやっていた。対象者が70名で参加者が1名か2名だった。地元でやらせてもらうことにしたら、結構評判がよくなった。その中で、子どもたちに敬老の日を認識させるような工夫をする必要があると思え、子どもの発表会の場を設けた。子どもが出るようになるとその親も出てくるようになって、それでみんなでやってくれるようになった。ぜひ、地元でやると同時に子どもたちの発表の場とすることがいいと思う。

【回答】

今後も敬老会に行くので、ほかの地区でどういう取り組みをしているのか状況をみて見ます。

20. 人事異動について

【意見等】

昨年、環境保全課の人事異動がありました。残念ながら、人がガラッと代わってしまい、継続性なんてないんじゃないかと感じた。これでは専門家は育たないと思う。

【回答】

人事異動については、人が代わっても継続性を持ってしっかりやるというのが行政の基本です。確かに頭が3人代わると、対住民や団体の皆さんからすれば、何を考えているのかという意見もあるかと思えます。その辺は今後気をつけながらやっていきたいと思えます。専門職については、大きな市になりましたので、消防の救急救命士、看護師、社会福祉士、土木の技術者などを去年あたりから採用しています。若い人だけではなくて、社会人経験者も採用しています。これからもそういう考え方で専門職を育てていきたいと思えます

21. 環境問題について大学と連携して考えてほしい

【意見等1】

常盤大学と包括協定を結んでいると聞いた。もし大学に専門家がいれば、連携を取って、継続的にやればいい方法が見出せると思う。また、茨城大学の論文の発表を笠間地区でやっていて、まじめにいろんな提案がされている。よくこのようないいアイデアを考えたと思う。常盤大学や茨城大学と連携を取り、若い人の力を導入することで、環境問題も一歩先に進むんじゃないかというような気がした。

【回答1】

まちづくり関係は茨城大学との連携が強く、それ以外の分野については常盤大学と包括協定を結んでいまして、行政にプラスになっている部分が多いです。専門家である先生方にいろいろなノウハウを借りながらやっていくことも必要だと思います。

【意見等2】

環境基本計画を作ったが、それで終わりにしないで、実施計画が大切だと思う。問題が大きすぎるので、ボランティア活動で解決できるようなものではない。市の強烈なリーダーシップが当然必

要だと思う。

【回答2】

環境基本計画は作れば終わりではなく、それをどう実施していくかということなので、もちろん行政のリーダーシップが必要ですが、民間でそういう分野に取り組んでいる方、ボランティアなどの協力も必要だと思います。一緒になってやっていくということで協力していただければと思います。

2 1. グラウンド整備用のトンボを補充してほしい

【意見等】

グラウンド整備用のトンボを補充してほしい。

【回答】

状況が分からないので調べてみます。